

国宝・勝興寺はこれまでに幾度かの移転を経た後、1584年(天正12年)に現在の高岡市伏木古国府の地に建てられました。ここはかつて越中国府があった場所で、国守として赴任した大伴家持はここで数々の歌を残しました。

家持が詠んだ歌にある「三島野」とは、国府から遥かに見渡せる原野のことで、現在の大門町から小杉町にかけての帯とされ、めひの野園「みしまの工房」の事業所名の由来になりました。

当園の設立当初にはこちらの本堂で「チャリティー茶会」が催されるなど、当園との縁が深い場所でもあります。

# めひの野



〒930-0143  
富山県富山市西金屋668番地  
社会福祉法人めひの野園  
TEL.076-436-0270  
発行責任者 中田 匡  
(表題書)  
高岡市中川上町3の31  
(故) 社浦 秋水先生

## 特集

めひの野園のルーツをめぐる  
めひの万葉歌紀行

多機能型事業所(就労継続支援B型・生活介護)

ウォーム・ワークやぶなみ  
生産課・みしまの工房

2022年(令和4年)に国宝指定された勝興寺には、国内・外を問わず多くの観光客が訪れている。 Photo:岡崎 秀徳(めひの野園写真部)

めひの野園  
の  
ルーツをめぐる

# めひの万葉歌紀行

## 第5回

めひの野園では設立以来、「本物をつくる」ことにこだわり、自主製品の生産に力を入れてきました。

1994年(平成6年)に「知的障害者授産施設(当時)ウオーム・ワークやぶなみ」が竣工。そして1999年(平成11年)には同敷地内に「みしまの工房」が、それまであった「うさか寮」地内から新築移転しました。

それから現在まで、利用者たちは活き活きと「本物づくり」に励んでいます。



富山県内2例目の国宝に指定された勝興寺本堂。

### 勝興寺がある「古国府」とは

奈良時代に地方の政務を執る「国庁」が置かれた都市を「国府」と呼び、大伴家持が国守として赴任した当時の国庁は、現在の勝興寺境内と、その周辺にあったと考えられています。家持はここから見た情景や四季の移ろい、人々の人情を数多の歌に残しました。

時が流れ、戦国時代には一向一揆の拠点として「寺内町」が発展しました。寺内町とは寺院を中心形成された町のこと、現在でも高岡市古国府では、勝興寺寺内町

### 「みしまの工房」の由来の歌

みしまの  
三島野に 霞たなびき

しなすがに 昨日も今日も

雪は降りつつ

(大伴 家持)

——三島野に霞がたなびいている。それなのに昨日も今日も雪が降り続けている。



二上山から見た「三島野(現在の大門、小杉方面)」。



現在のみしまの工房。



工房までは歩いて通勤。



藤巻神明宮の歌碑。

みしまの工房に込められた思い

利用者の「生活の場」である「うさか寮」のすぐ側にあった作業棟を、歩いて5分ほど離れた場所に移転したのには理由があります。それは「ノーマライゼーション」を根底にした「職任分離」という考えです。

「生活の場」と「働く場」をきちんと区別し、毎日「うさか寮」から「みしまの工房」へ通って作業に取り組むことで生活のリズムが整えられるのです。

# めひの野園と勝興寺の縁

1986年(昭和61年)10月19日、「第2回めひの野園チャリティお茶会」が、前年の護国神社から場所を移し、勝興寺本堂で開催されました。

「飢餓に苦しむアジア・アフリカの子どもたちに役立てたい」との思いで開催されたお茶会には、利用者が一心に土をこね、中曽根元首相から「上手になったね」と褒められた抹茶茶碗や、国産高級砂糖である「和三盆」を取り寄せて、保護者の皆さんが試行錯誤を重ねた末に完成した落雁が用意され、盛大にして心温まる一席となりました。

「めひの野オヤジ」こと中田勉設立者(故)は、本誌第13号で次のように語っています。「(略)子ども達の素朴な作品と人間愛を育てようと、いろいろな方々のご支援とご助力によって、第2回めひの野園お茶会を、越中万葉ゆかりの地、高岡伏木で開催できますことは、『めひの野』の名とともに不思議なご縁で本当に嬉しいことです」。



第2回チャリティ茶会の様子。

や越中万葉の里に相応しい歴史的景観の街づくりに取り組み、地元住民からは「ふるこはん」と呼ばれ親しまれています。



勝興寺を中心に寺内町として発展した古国府。

## 「ウォーム・ワークやぶなみ」の由来の歌

荊波の里に宿借り  
春雨に 隠り障むと  
妹に告げつや  
(大伴 家持)

——荊波の里で宿を借りたが、春雨に降り込められて宿にこもっている。誰か妻に告げてくれただろうか。



高岡市「荊波(うばら)神社」境内



荊波神社境内の歌碑

## 荊波の里とは

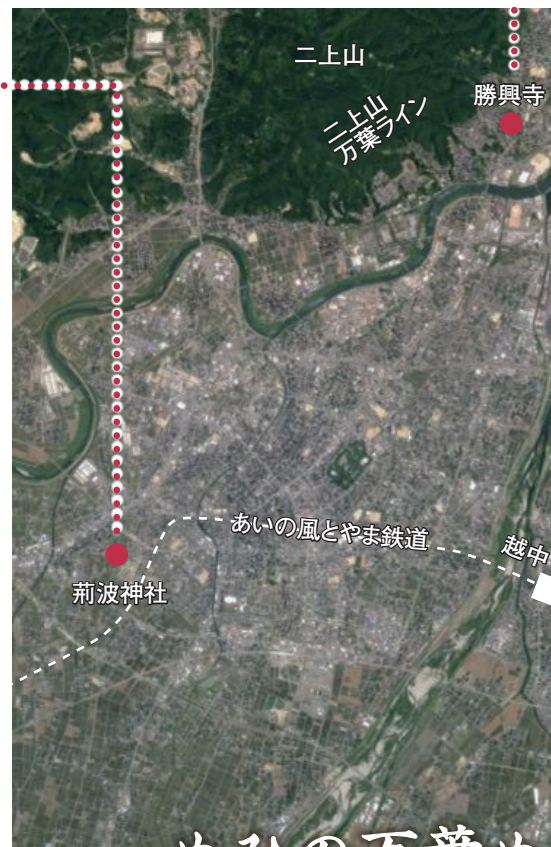
越中に赴任した大伴家持は墾田開発に力を注ぎ、750年(天平勝宝2年)に墾田地検察のために「荊波の里」を訪れました。この地が現在のどこに当たるのかは諸説ありますが、この歌からは慣れない北陸の地で留守をする妻を思いやる家持の心情が伺えます。

なぜめひの野園はここまで「本物をつくる」ことにこだわってきたのか。それは利用者が持っている感性や素材に、そして可能性を信じているからに他なりません。

そのためには設備投資を惜しまず、その道に精通した講師(プロ)を招き、「本物を見せる支援」を続けてきました。それにより利用者は視覚を通して学び、ある時に才能を開花させ、「めひの職人」として活躍する人も少なくありません。

今回紹介した歌にあるような、「雪が降り続く日」も「雨に降り込められた日」も、利用者たちは自分の得意なことを活かした「本物づくり」に励んでいくことでしょう。

高級砂糖「和三盆」を使った手作りの落雁、一度食べてみたい！  
記・広報委員会 岡崎 秀徳



めひの万葉め

高じた趣味を仕事に活かす  
「めひのの職員」紹介します!

うさか寮診療所 看護師



小野 千文

いつも笑っていたい!!

「カターレ富山」の応援グッズ。はまってしまったのは息子さんの影響なのだとか。

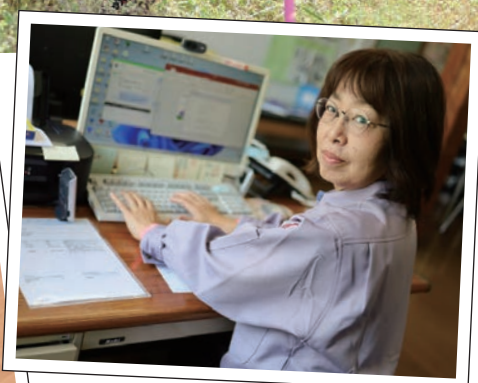
家にいると、つい仕事や家族のことばかり考えてしまうので、医療や栄養学、社会教育学といった自分の好きな分野の本を無心になって読む「自分の時間」も大切にしています。

Q. ジムではどんなトレーニングをされていますか?

——有酸素運動や、体幹を鍛えて基礎代謝を上げるトレーニングをしています

# あしたのめひの

Vol.28



自然を楽しむトレッキング(写真上)に、トレーニング(写真左下)…と、ON・OFFを切り替え、仕事にもイキイキと取り組む小野看護師。

Q. いつもイキイキと元気な小野さんの笑顔の秘訣を教えてください。

——週に2回はジムに通って汗を流し、体幹をメインにトレーニングしています。また、「推し」のサッカーチーム「カターレ富山」の応援に月に2、3回駆けつけ、そこで元気をもらっています。仲間と一緒に楽しむ時間はとても大切ですね。

Q. 運動を始めたきっかけは?

——末っ子の受験が終わった頃、長女が何気なく言った「もう十分私たちを育ててくれたんだから、これからは自由にしたいからね。」のひと言が胸を突きました。そして、その言葉のお陰で私の人生が変わったと感じています。現在の私の生き方を見て、一番びっくりしているのは、きっと家族でしょうね。

Q. 今後の展望をお聞かせください。

——以前は本を読むのが苦手でしたが、視野を広げたり、思考を柔軟化させたり出来るので、読書は今後も続けていきたいですね。年齢を言い訳にするのは嫌だし、好奇心も強いので、やってみたくて思ったことにはどんどんチャレンジしていきたいと思っています。最近、仲間から誘われて「トレッキング」も始めました。「尖山」や「小佐波山」といった初心者向けの山からですが、少しずつ高い山を目指して頑張っていきたいです。

まだ他にも叶えたい夢がありますが、そのためにも健康であることが大切です!今の状態をキープしながら「心も体も健やかに」過ごしていきたいですね。

自信に満ちてキラキラした小野さん、素敵です!

記: 広報委員会 柴田 香菜江



ウォーム・ワークやぶなみ

# 木工・薪部門

ウォーム・ワークやぶなみでは、今年度から主に薪の製造作業を行う「木工・薪部門」が開始しました。

この薪は「薪ストーブ」の燃料として使用されるもので、ナラの原木を「薪割り機」を使って割り、薪ストーブを取り扱っている県内の住宅メーカーに卸しています。



# 薪

## の製造 始めました！



薪ストーブはその暖かさに加え、レトロなインテリア感や、炎の揺らぎによるリラックス効果にも注目されています。



薪割り機で薪を割る笠木指導員。

薪割り機で薪を割るのは「木工・薪部門」の笠木指導員。「原木の太さによって、四ツ割りにしたり、ハツ割りにしたりして、太さを揃えながら割っています」とのこと。

割られた薪を黒コンテナに入れて運搬するのが「木工・薪部門」の利用者たちの主な仕事です。

「歩く」、「物を持つ」といった基本動作を使った「粗大運動」は利用者にとって分かりやすく、やりがいのある作業です。何往復もするうちに利用者の額には輝く汗が…。



薪の運搬  
頑張っています！

割った薪を黒コンテナに入れて運びます。



運んできた薪を隙間がないように並べていきます。

薪割り機がある作業場から少し離れた所には、薪を住宅メーカーに引き渡すためのカゴが設置されています。そこに運んできた薪を並べていくのも利用者の仕事です。なるべく隙間を開けないように丁寧に並べていきます。

「住宅メーカーから依頼された薪の製造に加え、今後はサクラやケヤキ、クスノキといった広葉樹を使い、当部門独自の薪を製造・販売していきたい」と意欲的な笠木指導員。これからの「木工・薪部門」の活躍が期待されます。



カゴにぎっしり並べられた薪。

薪は、化石燃料に比べると環境に良いエコな燃料としても注目されているそうです。

記・広報委員会 保木諭吉



# 新規採用職員紹介

めひの野園に新たに採用された職員の趣味や特技、抱負を紹介します。

春の苑  
生活介護班 生活支援員

しみず ゆきの  
清水 雪乃 (写真左)

趣味：音楽鑑賞、ヒトカラ（一人カラオケ）、おでかけ  
特技：物語の朗読  
抱負：昨日の自分よりも強く、日々成長していけるように頑張っていきたいです。



やねのうえのガチョウ  
店舗部門 職業指導員

ひがしやま やすこ  
東山 靖子 (写真左)

趣味：飼っている柴犬の朝夕の散歩  
抱負：たくさんあるパン屋の中で、「やねのうえのガチョウ」は、人にも体にも優しいパン屋さん第一位です。  
利用者さんと助け合いながら美味しいパンと明るい笑顔でお客様をお迎えしたいです。



春の苑  
生活介護班 生活支援員

いずみ ななえ  
泉 奈々絵 (写真右)

趣味：シヨッピング  
特技：歌を歌うこと  
抱負：利用者が過ごしやすい居場所作りのために、出来ることや強みを見つけていきたいです。



やねのうえのガチョウ  
製造部門 生活支援員

ふじい みやこ  
藤井 京 (写真左)

趣味：愛犬と遊ぶこと。映画鑑賞。早寝早起き  
抱負：利用者さんとコミュニケーションを取り、楽しく笑顔で過ごしていきたいと思います。



みしまの工房  
手芸班 生活支援員

にしじま なみ  
西島 奈美 (写真左)

趣味：釣り（海・溪流）  
抱負：同年代の班員と全員で力を合わせて頑張るぞ！



やねのうえのガチョウ  
事務員

なかやま ゆきえ  
中山 有希恵

趣味：花や観葉植物の世話  
特技：布団に入ったら3秒で寝れる  
抱負：今は慣れないことばかりで余裕はないですが、一つひとつ覚えながら進んで行きたいと思っています。



# めひの NEWS!

## フレンドリーショップ希望が リニューアル!

# Renewal



店内には「やねのうえのガチョウ」で焼かれた手づくりパンがズラリと並びます。

今年4月、アルビス呉羽東店敷地内にある当園のアンテナショップ「フレンドリーショップ希望」がリニューアルしました。「これまで以上に地域との密着を目指し、『やねのうえのガチョウ2号店』としての役割を持たせてはどうか」という中田園長の発案で、パンの販売を前面に押し出し、のぼり旗の設置などが行われました。



利用者が書いた味のある字ののぼり旗が、リニューアルした店舗の目印です。



元気に体を動かした腹ペコキッズたちも来店。「地域に根差した店づくり」に取り組みます。

「明るい笑顔で地域に元気をー。リニューアルした「フレンドリーショップ希望」にぜひ一度お立ち寄りください。」

リニューアルを手掛けた販売促進委員会の酒井いづみ委員長に話を聞くと、「リニューアルの効果は予想以上で、スーパーの買い物帰りにパンを買われる主婦層を始め、客足が伸びています」とのこと。「スポーツの後でお腹を空かせた子どもたちも、喜んでパンを手にと取っていきます。老若男女を問わず、気軽に立ち寄れるお店を目指したいですね」と意欲的でした。



地元の特産品「呉羽梨」を使った「梨じゃむ」。地産地消の当園オリジナル商品として好評です。

地球に迫りくる巨大で強大な白色彗星帝国。地球を背に最後の砦として立ち塞がるヤマト。そして多くの犠牲を払いながらも戦い続ける乗組員たちの姿に感動し、憧れ、共感し、そして涙しました。戦争を美化するつもりはありませんが、幼少期に叔父から戦時下の話を聞かされて育った私にとって、大切な者のために力の限り戦い、傷つきながらも使命を果たすヤマトの姿は、当時の私のヒロイズムを醸成したといっても過言ではありません。録画したVHSビデオは何百回も観たせいでテープが擦り切れてしまい、その後DVDを購入し、そして現在はブルーレイディスクで繰り返し楽しんでいるほどです。

ヤマトは万能無敵で最強の戦艦ではありません。ヤマトも乗組員も、自分と同じ弱い存在です。弱いからこそ使命を果たすために勇気を振り絞るのです。苦難や困難に立ち向かう人々の姿を著した「宇宙戦艦ヤマト」は、私の人生のバイブルなのです。

地球に迫りくる巨大で強大な白色彗星帝国。地球を背に最後の砦として立ち塞がるヤマト。そして多くの犠牲を払いながらも戦い続ける乗組員たちの姿に感動し、憧れ、共感し、そして涙しました。戦争を美化するつもりはありませんが、幼少期に叔父から戦時下の話を聞かされて育った私にとって、大切な者のために力の限り戦い、傷つきながらも使命を果たすヤマトの姿は、当時の私のヒロイズムを醸成したといっても過言ではありません。録画したVHSビデオは何百回も観たせいでテープが擦り切れてしまい、その後DVDを購入し、そして現在はブルーレイディスクで繰り返し楽しんでいるほどです。

ヤマトは万能無敵で最強の戦艦ではありません。ヤマトも乗組員も、自分と同じ弱い存在です。弱いからこそ使命を果たすために勇気を振り絞るのです。苦難や困難に立ち向かう人々の姿を著した「宇宙戦艦ヤマト」は、私の人生のバイブルなのです。

「宇宙戦艦ヤマト」への思いを語らせてください。

「宇宙戦艦ヤマト」とは、1974年に放映が開始されたSFアニメで、テレビ放映後は劇場映画が開かれ、社会現象になるほどの大ブームを起しました。それまで「子どもの物」と思われていたアニメ作品が、青年層までの幅広い支持層を得て、その後の「機動戦士ガンダム」や、「新世紀エヴァンゲリオン」といった、日本が世界に誇るアニメ文化の先駆けとなった名作です。

私は1976年生まれなので、リアルタイムの放映を観ていたわけはありません。「ヤマト」との最初の出会いは、小学生の頃にテレビで再放送されていた、劇場版「さらば宇宙戦艦ヤマト 愛の戦士たち」でした。

# 群竹

muretake

めひの野園職員の  
雑感コーナー



梨の木苑 主任  
般若 敏雄

# めひの野園後援会 総会 開催

4月15日(土)午前9時30分より、めひの野園後援会総会が開催されました。

総会には、後援会会長の五十嵐務富山県議会議員、後援会副会長の江西照康富山市議会議員の他、吉田勉富山県議会議員、田畑裕明衆議院議員所長橋本勝広様、野上浩太郎参議院議員秘書茶木武様、呉羽中学校校長中林直紀様も出席され、令和4年4月～令和5年3月までの決算報告、令和5年度以降のめひの野園の事業計画が説明されました。

会計報告は下表の通りです。

## 2022年度めひの野園後援会決算書

(期間 2022.4.1～2023.3.31)

単位：円

収入の部		支出の部	
後援会費	1,437,000	設営代	121,000
預金利息	12	諸費用	2,682
小計	1,437,012	小計	123,682
		本部経理区分へ	1,450,000
前年度繰越金	199,325	当期繰越金	62,655
合計	1,636,337	合計	1,636,337

## 会費内訳

一般会員	272件	777,000円
団体会員	68件	660,000円
合計	340件	1,437,000円

## 2023年度(福)めひの野園 品質方針

1. まだ手が差し伸べられていない人たちに手を差し伸べ、その障がいをよく理解し、心の扉を開いてもらえるよう歩み寄ります。
2. 自閉症の人たちへの関わりのあり方と、関わりを通じた理解のあり方について、常に研鑽を積みめます。
3. 処遇が困難とされる自閉症の人たちに、相談支援の場、生活支援の場、就労支援の場、余暇支援の場及び地域支援の場を提供し、生涯を通じた総合的な治療・教育・援助を行います。
4. 障がい者に対して、事業計画にそって地道な実践を積み上げ、障がいのある人たちが、地域社会において共生できるように支援します。

## 2023年度(福)めひの野園 基本方針

1. 私たちは、先行きを明るく見通すことが難しい今日、「人間万事塞翁が馬」と肝に銘じ、事業所経営を行います。

(1) 人間(じんかん)とは ・世の中 ・人生

(2) 万事とは ・あらゆること ・すべてのこと

(3) 塞翁とは ・塞 お城 ・翁 おじいさん

(4) 人間万事塞翁が馬とは ・人生は、良いことも悪いことも予測できないということ。

・人生において、何が良くて何が悪いのか、後になってみないとわからないということ。



## 2. 私たちは、法人及び事業所の経営改革に積極的に、かつ、先駆的に取り組みます。

- (1)「経営の4本柱」とは ・マーケティング ・労務管理 ・財務管理 ・サービス管理
- (2)「経営の5大資源」とは ・人的資源(ひと) ・物的資源(もの) ・財務的資源(かね)  
・時間的資源(とき) ・情報的資源(しらせ)

## 3. 私たちは、体・言葉・心のバランスをよくして、日常の五心を養っていきます。

- 「日常の五心」とは ・ハイといえる素直な心 ・すみませんという反省の心  
・おかげさまという謙虚な心 ・私が出ますという奉仕の心  
・ありがとうという感謝の心

## 4. 私たちは、5S活動を定着化します。

- 「5S」とは ・整理 (いらぬものを捨てる。)  
・整頓 (決められた物を決められた場所に置き、いつでも取り出せる状態にしておく。)  
・清掃 (常に掃除をして、職場を清潔に保つ。)  
・清潔 (整理・整頓・清掃を維持する。)  
・躰 (決められたルール・手順を正しく守る習慣をつける。)

## 5. 私たちは、笑顔・挨拶・礼儀を心がけ、報告・連絡・相談を徹底します。

## 6. 私たちは、危機管理意識を常に持ちます。

## 2023年度(福)めひの野園 事業計画

障がい者が自らの望む地域生活を営むことが出来るよう、相談・生活・就労・余暇・地域支援の場を充実し、一層の推進を図ることを目的として、下記の事業を計画している。

また、地域に根ざし、障がい者のニーズに即した事業所づくり、障がい福祉サービスの提供にこれまで以上に努める。

そして、「めひの野園」が主体性を持ち、自律的な経営ができるように事業展開を行っていく。

### 1. 2023年度事業計画

#### (1) 事業名 「飛騨流葉牧場」の飛騨地鶏飼育ハウス(2棟)の新築

所在地 飛騨市神岡町伏方地内

内容・用途 現在、飛騨流葉牧場では、地鶏飼育ハウス5棟、種鶏舎3棟で地鶏の生産を行い、年間約10,000羽を市場に出荷している。

しかし、年々地鶏肉の需要が高まり、年間10,000羽の出荷では、需要にたえきれない状況になっている。

そこで、新たに地鶏飼育ハウス2棟を新築し、年間15,000羽以上の出荷を可能にし、売上向上については利用者の工賃向上を図ることを目的とする。

整備費総額(概算)	9,000,000円
財源内訳 (福)清水基金助成金(予定)	6,700,000円
自己資金	2,300,000円

### 2. 2024年度以降の事業計画

福祉業界における慢性的な人材不足、物価及び光熱費の高騰、新型コロナウイルス等先行きを明るく見通すことが難しい今日、新規事業の立ち上げは、現段階において見合わせなければならないと考察する。



北陸フジクリーン(株) 富山市  
 中田圭三 富山市  
 林直樹 高岡市  
 山崎恵一 富山市  
 熊膳勇 富山市  
 大谷隆 富山市  
 穴口浩康 滑川市  
 クレハ運送(株) 富山市  
 (株)島田樹脂 富山市  
 下条竜一 射水市  
 関原濟業 富山市  
 八川鐵夫 富山市  
 竹田精肉店 富山市  
 原田絹子 高岡市  
 村石篤 富山市  
 宮田伸朗 高岡市  
 大浦和浩 富山市  
 酒井孝 富山市  
 末岡秀明 中新川郡  
 本家かまどやニール球場前店 富山市  
 加藤冷子 富山市  
 滝上真由美 富山市  
 田中晴夫 富山市  
 伊東恵子 富山市  
 村上祥子 射水市  
 田中碩子 富山市  
 山下富志治 岐阜県飛騨市  
 山下恵美子 岐阜県飛騨市  
 新田美穂 岐阜県飛騨市  
 草分多寿子 岐阜県飛騨市  
 中田多美子 岐阜県飛騨市  
 沖村富美子 富山市  
 宮舟貴子 富山市  
 富山県火災共済協同組合 富山市  
 富山恵子 富山市  
 伊東克良 富山市  
 野上浩太郎後援会 富山市

松本則幸 富山市  
 北陸砂糖(株) 富山市  
 水尾豊 富山市  
 大居定雄 南砺市  
 島田知明 射水市  
 島田礼子 射水市  
 林商会(株) 富山市  
 北陸銀行 呉羽支店 富山市  
 森産業(株) 群馬県桐生市  
 (株)日本空調北陸 富山市  
 丸果(株)高岡青果市場 高岡市  
 橋本奈穂子 岐阜県飛騨市  
 フクイミエコ 高岡市  
 米田五百子 高岡市  
 島田弘義 高岡市  
 島田洋子 高岡市  
 山口秀了 富山市  
 寺井純男 射水市  
 北日本放送(株) 富山市  
 濱井秀之 射水市  
 鈴木勇 富山市  
 (株)北国屋商店 小矢部市  
 新村志津子 富山市  
 (株)スパック 高岡市  
 日本海建興(株) 富山市  
 浅田為久 高岡市  
 東洋ゴム北陸販売(株) 富山市  
 藤田清之 富山市  
 (有)フォレストスペースプランニング 富山市  
 金田幹也 富山市  
 五十嵐務 富山市  
 中澤一行 富山市  
 坂本侖子 富山市  
 坂本英男 富山市  
 入江宣行 大阪府吹田市  
 裕交会 富山市

入江裕子 大阪府吹田市  
 西田紀代子 富山市  
 徳井広巳 岐阜県飛騨市  
 小林ひろみ 富山市  
 (有)三輪商会 富山市  
 松井秀紀 富山市  
 北森正誠 富山市  
 土井章子 南砺市  
 土井 巖 南砺市  
 (有)サン・アルスア 富山市  
 穴口美喜子 滑川市  
 穴口知康 滑川市  
 稲場知康 滑川市  
 笹谷守 富山市  
 (株)浪速電機工業所 富山市  
 藤森紀子 高岡市  
 なのはな農業協同組合 富山市  
 飯憲介 成年後見人 岩崎 久憲 富山市  
 近岡佳彦 富山市  
 鳥辺由美子 魚津市  
 太平ビルサービス(株)富山支店 富山市  
 ニッタン(株)富山営業所 富山市  
 藤井正利 富山市  
 山本真紀子 射水市  
 島津つぎ子 富山市  
 黒瀬薫乃 富山市  
 アルビス(株) 射水市  
 北陸総合警備保障(株) 石川県金沢市  
 番定信弘 富山市  
 沖村利秋 富山市  
 テレ通(株) 富山市  
 (株)大阪屋シヨップ 富山市  
 塩田隆男 富山市  
 城石則子 富山市  
 岡部千香 富山市  
 ホーチキ(株) 富山市

(株)SHIMARS 射水市  
 瀬真由美 高岡市  
 兼松茂 富山市  
 塚田正幸 富山市  
 北日本印刷(株) 富山市  
 青島康枝 高岡市  
 平野宏枝 富山市  
 河上良雄 高岡市  
 藤木恵子 富山市  
 宮和貴夫 富山市  
 輪島富美子 富山市  
 梶島トヨミ 高岡市  
 扇子一美 高岡市  
 若島実子 黒部市  
 東角太郎 砺波市  
 堀甚一 富山市  
 麦谷正香 富山市  
 麦谷直二 富山市  
 麦谷和夫 富山市  
 七澤邦彦 高岡市  
 松岡道子 富山市  
 亀山知己 富山市  
 亀山由貴子 富山市  
 天坂かをり 富山市  
 富山縣護國神社 富山市  
 江西照康 富山市  
 東真盛 富山市  
 (有)古川酒飯 富山市  
 (有)瀧味堂 富山市

後援会振込口座番号  
 北陸銀行五福支店 店番号140  
 普通預金4250590  
 (福)めひの野園後援会

### みしまの工房送迎車 「ヴオクシー」整備完了

みしまの工房では、高齢化が進み、工房までの歩行が困難になった利用者の送迎や食事の運搬などのために、送迎車を整備しました。

利用者の安全な通勤や通院、余暇支援などに幅広く活用していきたいと思っています。



安心・安全な通勤を心がけます！

### ご寄付ありがとうございました。

(2023.2.18) (2023.5.25) 敬称略

- 佐藤理容院 富山市
- 富山短期大学 富山市
- めひの野園後援会
- 荒城 法隆 中新川郡
- 中川 和子 中新川郡
- 富山福祉短期大学 射水市
- 中田 匡 富山市
- 金城大学 石川県白山市
- 富山国際大学 富山市
- 島倉 孝子 富山市
- 米田 五百子 高岡市
- 坂本 英男 富山市
- 飛騨市障害者総合支援協議会 岐阜県飛騨市
- 富山市仏教連合会 富山市

寄付金振込口座番号  
北陸銀行呉羽支店 店番号120  
普通預金6077230  
社会福祉法人 めひの野園



### 来訪者

(2023.2.18) (2023.5.25) 敬称略

- (株)ダスキン高岡 麻生 雅樹
- (福)恩賜財団済生会支部 富山県済生会
- 富山県地域生活定着支援センター
- 北日本放送(株) 西田 知大
- 北陸銀行呉羽支店 庄司 幸寛
- 富山県呉羽青少年自然の家 岡田 悠佑
- 富山県厚生部障害福祉課 岩城 公二
- 富山県 奥田 貴一
- 河尻 茂明
- 木田 猛
- 佐藤 広樹
- 坂本 絵美
- 田畑裕明事務所 橋本 勝広
- 野上浩太郎事務所 橋本 勝広
- 富山県議会議員 茶木 武
- 富山県議会議員 五十嵐 勉
- 富山県議会議員 吉田 勉
- 富山市議会議員 江西 照康
- 富山市立呉羽中学校 小林 直紀
- フードバンクとやま 川口 明美
- 富山第一銀行呉羽支店 堀 祐二
- (福)射水福祉会 いみず苑 寺岡 栄一



### 編集後記

小学生時代の夏休みのある日、プールから帰ると、玄関にダンボールが置かれ、中にはぎゅーんとマンガ本が詰まっていた。母から「息子のマンガ好き」を聞かされたパート先の同僚が、読み終えたマンガを譲ってくれたのだ。本宮ひろ志の『俺の空』や、グルメマンガの金字塔『美味しんぼ』といった、やや成年向けと思われる内容は、小学生の私には少しばかり刺激が強く、まさに未知の世界への扉であった。

特に『美味しんぼ』は、作中の料理や食材を「どんな味がするのだろう」と想像しながら夢中でページをめくったものである。そのうち私の頭の中には、「鰻はガスではなく炭火で焼くに限る」とか、「キャビアには黄金のスプーンが相応しい」だとか、およそ小学生には不釣り合いな食の知識が増えていったのであった。

単行本第3巻には「和菓子の創意」という話が収録されており、そこには「和三盆」が登場する。主人公の山岡さんが勧める「本物の和三盆を使った干菓子」を食べた同僚の栗田さんは、その味を「舌がスーッと甘さね」と語る。このシーンを見た私は思った。「ははあ、『和三盆』ちゅうのは、ハッカ飴みたいなもんかしと。」

本紙で紹介した「チャリティー茶会」が開催されたのは昭和61年のこと。インターネットもない時代に「和三盆」を取り寄せるのは並大抵の苦労ではなかったであろう。完成した手作りの落雁が「ハッカ飴」の味がしたのははさておき、来賓の方々に「本物の味」を味わって頂きたいという保護者の皆さんの心意気に、「めひの野園の原点」をまたひとつ見つけた気がする。

(岡崎記)